

VOL. 24

MISAWA

病院だより

2023

2

Topic

- ・地域包括ケア（4階西）病棟のご紹介
- ・看護補助者について
- ・新入医師のご紹介
- ・2年間の臨床研修を終えて
- ・病院からのお知らせ



三沢市立三沢病院

〒033-0022

青森県三沢市大字三沢字堀口164番地65号

電話番号：0176-53-2161（代表）

F A X：0176-53-2173

U R L：<http://www.hospital.misawa.aomori.jp/>

地域包括ケア（4階西）病棟 のご紹介



急性期治療後のリハビリや、在宅復帰に向けた医療や支援を行うための病棟です

STAFF (令和5年2月現在)

- ・看護師（准看護師含む）23名
- ・退院調整専任看護師1名
- ・看護補助者8名

TOPIC

- ・病棟看護師長あいさつ . . . 1~2P
- ・施設基準について . . . 2P
- ・看護補助者について . . . 3P

入院費について

入院費用の計算方法は定額制（1日あたり）で入院基本料、投薬料、簡単な処置料、検査料、画像診断、リハビリ等の費用が含まれています。

※急性期病棟と同様に、
医療保険、高額療養費助成制度の対象となります。

※個室料・病衣・おむつ代等
保険診療対象外のものの費用は含みません。

住み慣れた地域で暮らすために

4階西病棟看護師長 土田 恵美

「地域包括ケア病棟」は、4階西病棟51床の病床数で、自宅や施設へ退院することに不安がある患者さんに対して、退院に向けた治療やリハビリテーション、在宅復帰支援を行うことを目的とした病棟です。主な対象患者さんは、

- ①急性期治療が終了し退院までに少し加療を要する方
 - ②在宅への退院準備、リハビリの継続が必要な方
 - ③緊急時や病状悪化があり、日常生活に支障のある方
- とし、医師、看護師、退院調整専任看護師、専従の理学療法士、医療ソーシャルワーカーなど多職種が連携し、患者さんが安心して退院していただけるよう、サポートしています。

令和4年度から、地域包括ケア病棟に退院調整専任看護師が配属になり、よりスムーズな退院調整が行えていると実感しています。病状の変化等で、急遽退院先を変更しなければならない場合も、相談しやすい環境にあります。

また日常生活（清拭・排泄・入浴・食事・移動など）の援助として看護補助者の協力が不可欠であり、日々、看護師と看護補助者が連携しながらケアを行っております。



急性期病棟に入院している患者さんが、地域包括ケア病棟への転棟を決定するために、多職種が集まり週1回会議を開催しています。地域包括ケア病棟の入院期間は最長60日で、転棟と同時に退院調整を始めています。

患者さんやご家族が、療養生活の場について意思決定を行う場面においては、退院後の生活をイメージしながら問題を明確にし、患者さんに寄り添いながら、解決方法と一緒に考え支援しています。地域包括ケア病棟の看護師として一番うれしく思うことは、退院される患者さんの笑顔や感謝の言葉です。また、退院調整までに様々な関わりをもった患者さんが元気に退院されることが、私たち看護師の次の業務につなげる力となります。

患者さんの病状変化や、家族間での意思決定の相違に退院調整が上手く進まないこともあります、「愛され信頼される病院」を目指し、経験を積み今後の支援につなげるため日々の退院支援の振り返りも行っています。

これからも患者さんが安心して退院していただけるよう、在宅復帰支援について学び続けていきます。



④ 施設基準について

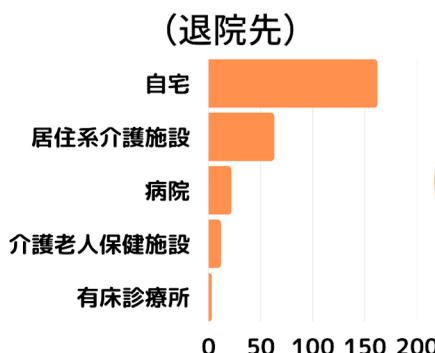
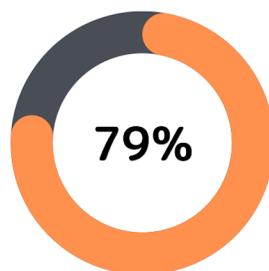
○ 地域包括ケア病棟入院料2を算定をしています

【施設基準】

- ・在宅復帰率（自宅や居住系介護施設等への退院割合）→ **72.5%以上**
- ・リハビリテーション実施→**1日2単位(40分以上)** のリハビリ提供
- ・自院の一般病棟から転棟した患者割合→ **6割未満**

円滑な退院支援を行うため、毎朝の病床ミーティングおよび週1回の調整会議を実施しています

<在宅復帰率について>



<リハビリについて>



(算定項目)

- ・運動器リハビリテーション料1
- ・脳血管リハビリテーション料1
- ・廃用症候群リハビリテーション料2
- ・がん患者リハビリテーション料

その他 摂食機能療法（出来高算定）

コロナ感染症拡大により、退院予定先の施設等の状況も日々変化しており、一般病棟からの早期の退院支援を開始しています。また、患者さんの状態や、退院先に合わせたリハビリ介入を行っています。

※令和4年5月～10月実績

看護補助者について

『看護師の指示のもと、専門的判断を必要としない看護補助業務を行う職種』です

- ・公的な資格をもたなくても働くことが可能です
- ・当院でも幅広い年齢層の方が活躍しています。
- ・業務を通じて、医療や介護など様々な知識を持つことができます。
- ・患者さんに寄り添いながら、医療を支える重要な仕事です。

仕事内容



1.周辺業務（患者さんに接しない業務）

- ①生活環境に関わる業務（病床周辺の清掃・整頓、病室環境の調整、シーツ交換やベッドメイキング、買い物代行など）
- ②診療の補助に関わる業務（物品・薬剤・検体の搬送、機械や器具等の準備・片付けなど）

2.直接ケア

日常生活に関わる業務（食事・排泄・入浴介助、移動や移送に関する業務など）



看護チームの一員として

看護師が専門的業務に専念するためにも、看護師と看護補助者との間で、適切な役割分担を進めることが、医療機関では重要課題となっています。

質の高い看護を提供するために、チームで情報共有をしながら、ケアを行ってます。

責任感とやりがい

ナースコール対応が重なり、すぐに患者さんの元へ行けないことがあったり、「看護師じゃないの？」と言われることもありますが、直接患者さんに関わることができ、やりがいも感じられる仕事です。

「ありがとう」を励みに

看護師からの依頼を受け、歩行の見守りや、リハビリのための歩行練習に付き添うこともあります。普段あまりお話をされない患者さんから感謝の言葉をもらったり、数歩程度しか歩行が出来なかった患者さんが、退院時には笑顔で歩いて退院される姿みると、大変うれしく励みになります。

看護補助者に聞いた

どんな方が向いているのか

- ・気配り、思いやりの気持ちをもって対応できる方
- ・コミュニケーションが好きな方
- ・体力に自信がある方（仕事は多岐に渡ります）
- ・介護経験等がある方は、業務に生かしやすい

*経験、資格は不問！働きながら知識や技術を身につけることができます！
(院内教育体制もあり)

- 採用情報につきましては、三沢病院ホームページ内の採用情報をご覧いただくなか、病院事務局管理課（0176-53-2161）までお問合せ下さい。

新入医師のご紹介（令和4年10月採用）



かんだ たいしゅう

名前：神田 大周（外科医長）

趣味・特技：スキーバイキング、パラグライダー

三沢病院の印象・抱負：

地域の中核をなす病院として、三沢病院が担う役割と責務は非常に重要なものであると実感しています。病院スタッフのみなさんは活気があり、一丸となって従事されていると感じました。

私もより良い医療の提供に貢献できるよう、日々精進して参ります。よろしくお願ひいたします。



2年間の臨床研修を終えて

～仕事とプライベートの充実～

臨床研修医 長岡 裕太郎



2年前、どういう訳か縁があり、私は三沢病院で働かせていただくはこびとなった。医療従事者ではない多くの人々にとって、研修医とは悪いものではないかもしれない。頭脳明晰、若くして医師を志し、医療の発展や人々の健康はじめとする公衆衛生を担うエリート。”医”という漢字はカラヴァッジョの絵画のタイトルを暗記していないなくても容易に知的な印象を与える。

しかし、医療従事者から見た”研修医”、とりわけ私から見た研修医とは、愚鈍、雑用、上級医の顔色を伺い、医師らしいことといえば時間を惜しんで自己研鑽に精を出す...。といったところ。上級医と対等に議論をし、的確に行動、指示出しをするある意味で衒学者的一面を持つデキレジを想像する方もいらっしゃるだろうが、私からしたら悪しき医療ドラマ=空想の産物でしかない。

1年目、医療の現場はストレスフルな環境だ。診察・疾患・治療の知識を前提に、迅速な判断、行動を求められ頭も体も常に稼働させなければならない。私はやることなす事全てに自信がなく自身の思い描いた研修医像以下の出来だ。それよりなにより患者さんはじめ医療スタッフの方々に迷惑をかけていることが、なにしろ気がかりであった。

自信を失っているとき、ありがちだが、大切なことはプライベートの充実だ。熱中できる趣味があるということはなんと素晴らしいことなのだろう。私の趣味、すなわちワインと洋服と音楽である。それらに触れている時、私は根拠のない自信に満ち溢れ、輝ける時間を過ごしている。辛いこともやりがいに変わる。私の「そんな時間」と他人の「そんな時間」の共有こそ、私が心身の充実を感じるときなのである。

幸い、私の趣味を共有し、ときにはくだをまく私の戯言を聞いてくださる先生方、友人に恵まれたことも心の安定に繋がった。

2年目、気がつけば後輩ができていた。意識は環境により形成されていくものだ。





病院からのお知らせ

○医療機器を更新しました



令和4年度防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金事業を活用し、「X線透視撮影装置」を更新しました。

X線透視撮影装置は、間欠的に照射するX線を用いて、体の中の様子をリアルタイムの画像として見ることができる装置であり、胃バリウム検査を代表とする消化器系の検査や、整形外科での骨折の整復、内視鏡を併用した胆管結石の除去や大腸ポリープ切除などの検査を行うことができます。

今後の安定した患者の受け入れはもとより、より正確な検査、診断、治療が期待されます。

※この医療機器は、防衛施設と周辺地域との調和を図ることを目的とした、防衛省の補助事業を活用して整備されたものです。

○発熱外来施設について



新施設への更新を行い、令和4年11月より運用開始しております。

受付・PCR検査・診察までの待機・診察の一連の流れを、1つの建物内で行うことができるようになりました。患者さん同士が対面しないよう、入口から出口まで一方通行とし、動線の確保をしております。

また、空調・換気設備、水洗トイレ、スロープの設置等により、感染リスクを最小限にした上で、安心して診察が受けられるよう整備されました。



○発熱などがある場合の受診方法について (令和5年2月時点)



まんえん

院内蔓延を防ぐため、お電話にて受診予約を行っております。かかりつけ医が当院の方、かかりつけ医や保健所から当院へ紹介された方で、受診を希望する場合は、事前に下記番号までご連絡をお願いします。

※基本的には、当日11時までにお電話をいただいた方の対応といたしますが、症状等によってはその限りではありません。

※診察の状況によっては、当日受診できない場合もございますので、ご了承願います。



発熱外来に関するお問い合わせ：0176-53-2161（代表）

発熱外来希望の旨、お伝えください

内容は変更になる場合がございますので、当院ホームページをご確認ください
<http://www.hospital.misawa.aomori.jp/>